



地区組織とCLPとの関係について

国際ロータリー第2600地区 DLP推進委員会 委員長 堀川 浩(塩尻RC)



地区には、地区リーダーシッププランの採用が義務付けられています。(章典17.030.1~6)そして章典17.030.6でクラブには、ガバナー補佐と地区委員会と協力してクラブリーダーシッププランを採用すべきであるとしています。“すべきである”と云うのは強制ではありませんが、クラブにあっては「クラブ会長要覧」「クラブ幹事要覧」「クラブ管理運営委員会の手引き」その他奉仕プロジェクト委員会、会員増強委員会、広報委員会等の手引きもほんの2-3ページ進むとクラブリーダーシッププランが出てきます。

地区関係では「地区ガバナー補佐要覧」「地区委員会の手引き」を始めとして全ての要覧、手引きに地区リーダーシッププランとクラブリーダーシッププランがセットで説明されています。

何故これほどまでにRIがCLPを推奨するのでしょうか。ここにはアメリカと日本と云うロータリー大国の会員減少への危機感が大変強く感じられます。云うまでも無くRIの構成員はクラブです。クラブが効果的に発展成長しなければロータリーの発展はあり得ません。そこでCLPを強力に推奨するわけです。地球上に存在する不幸や不公平な環境にいる大変多くの人達への思いを奉仕という形で活動するロータリーにはもっともっと強力である事が求められています。

クラブ・リーダーシップ・プランとは、ロータリークラブに推奨される管理的枠組みであり、効果的なロータリー・クラブのベスト・プラクティス(最善の実践方法)に基づいて作成されています。それぞれのロータリー・

クラブは独自に異なる存在であるため、クラブ・リーダーシップ・プランは、世界中のクラブの個々のニーズに応用できる柔軟性を備えています。クラブ・リーダーシップ・プランの採用はすべてのクラブに義務づけられているわけではありませんが、次のようなベスト・プラクティスに基づく標準化された管理上の手順を採用することは、新旧を問わずすべてのロータリークラブにとって有用となるでしょう。それには次のような手法を踏んで導入することが良いと云って居ます。

- 効果的なクラブの要素に取り組む長期目標を立案する。
- 長期目標を支える年次目標を設定する。
- クラブ会員全員が最新情報を得ていること、クラブに参加していることを実感できるようにする。
- クラブ内ならびに地区との意思疎通(情報伝達)を円滑に図る。
- 年度から年度への指導力の継続性を保つ。
- クラブの運営を反映するよう細則を独自に修正する。
- 定期的な親睦の機会を提供する。
- すべてのクラブ会員が積極的に参加する。
- 定期的かつ首尾一貫した研修を提供する。

これを見て頂ければクラブの組織を簡素化するか、ロータリー財団や広報、会員増強を表面に出してロータリーの根幹である職業奉仕を無視するか云う部分は一切ないと言えます。

効果的な(活動的で魅力ある)クラブとはどう云うクラブなのかと云えば、確りした会員基盤の上に立ち、積極的な奉仕活動を展開し、財団や米山に積極的に寄与し、すぐれた会員を多く持つよう研修に熱心である事に疑問を持つ人はいないでしょう。

其れを実現するために、中長期のクラブのあり方を見極め、全員参加で其の計画を実行するに必要最低限の簡素で筋肉質なクラブ組織を構築する手法がCLPだにご理解頂けると思います。

次年度地区はDLPに準拠した地区組織を採用します。

DLPに基づく地区委員会	従来型のクラブ委員会	CLPに基づくクラブ委員会
ガバナー補佐	クラブ奉仕委員会 出席委員会 プログラム委員会 会報委員会、雑誌委員会 ニコニコボックス委員会 親睦委員会、会員増強、 職業分類、会員選考委員会 情報委員会 など	クラブ管理・運営委員会 (出席、会場、ニコ、SAA) (親睦)(プログラム) など機能別に委員会を組織し、 一つの委員会に多くの会員を 配分して、 全員の参画意識を持たせるように 配慮する
会員増強委員会	(クラブ奉仕委員会に包含)	会員基盤強化委員会 職業分類委員会 会員選考委員会 クラブ研修リーダー
広報・情報委員会	(クラブ奉仕委員会に包含)	広報委員会 情報委員会 雑誌委員会
社会奉仕委員会	社会奉仕委員会	奉仕プロジェクト委員会 クラブ独自の委員会 実際に行う奉仕委員会名
国際奉仕委員会 青少年交換委員会	国際奉仕委員会 WCS委員会 青少年交換委員会	奉仕プロジェクト委員会 クラブ独自の委員会 実際に行う奉仕委員会名
新世代活動委員会	新世代活動委員会 ローターアクト委員会 インターアクト委員会 ライラ委員会 など	新世代活動委員会 クラブ独自の委員会 実際に行う奉仕委員会名
ロータリー財団委員会	ロータリー財団委員会	ロータリー財団委員会 (必須)
米山記念奨学会委員会	米山記念奨学会委員会	米山記念奨学会委員会 (必須)
職業奉仕委員会	職業奉仕委員会	職業奉仕委員会